

MUJI+INFILL 木の家 スケルトン

安全性能 外装材

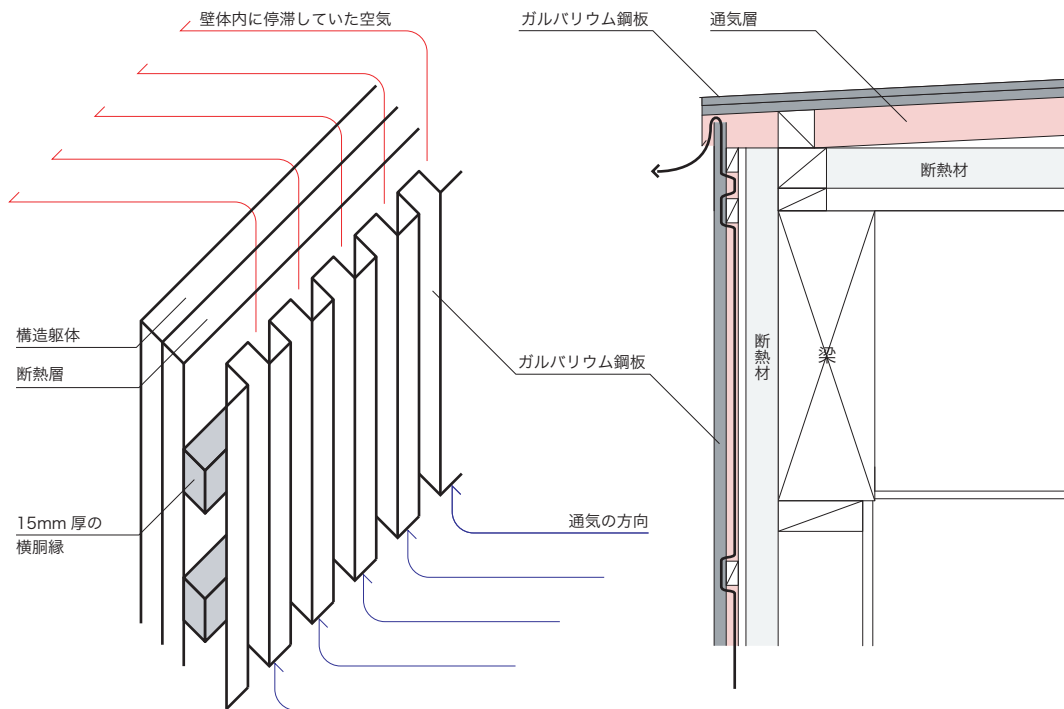
地震時の安全性を確保する軽量外装材

構造物が地震などの揺れから受ける力は、構造物自身の質量に比例します。たとえば、十分な構造計算をしていない木造住宅が厚さ25mm以上の外壁や陶器瓦を使用した場合、構造躯体にかかる荷重は相当大きなものになります。阪神淡路大震災では、こうした外装材を使った木造住宅が自らの重さで倒壊したケースが多く発生しました。理想的な外壁素材の条件。それは、丈夫でありながら軽量であること。MUJI+INFILL木の家では、この条件を満たした素材「ガルバリウム鋼板」をその外壁と屋根に採用しました。

木造躯体を結露から守る壁体内通気

MUJI+INFILL木の家が採用したガルバリウム鋼板の角波部分には「壁体内通気層」が設けてあります。この役割は、壁の中にこもる湿気を外に排出し、木造躯体を結露から守ることです。建物構造の劣化を防ぎ、耐久性をも高めるガルバリウム鋼板。住む人に安心と安全をもたらす頼もしい素材です。

壁体内通気のしくみ。



※ 掲載商品の仕様・価格は予告なく変更する場合があります。
※ 実物と多少色・仕様が異なる場合があります。

※ カタログ発行 2005年2月